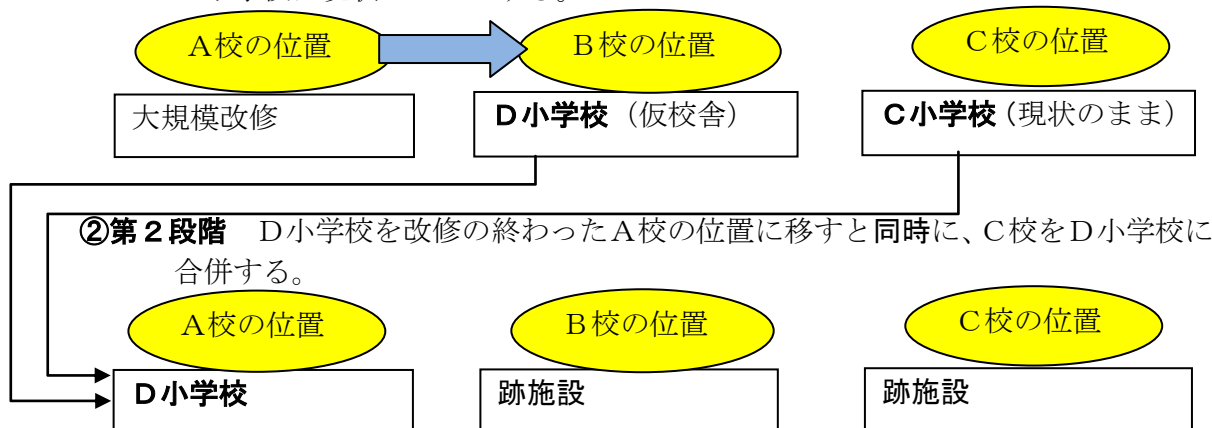


1 3校統合の進め方について

※仮に統合により新設されるD小学校の統合場所をA校の位置、仮校舎をB校の位置とする。

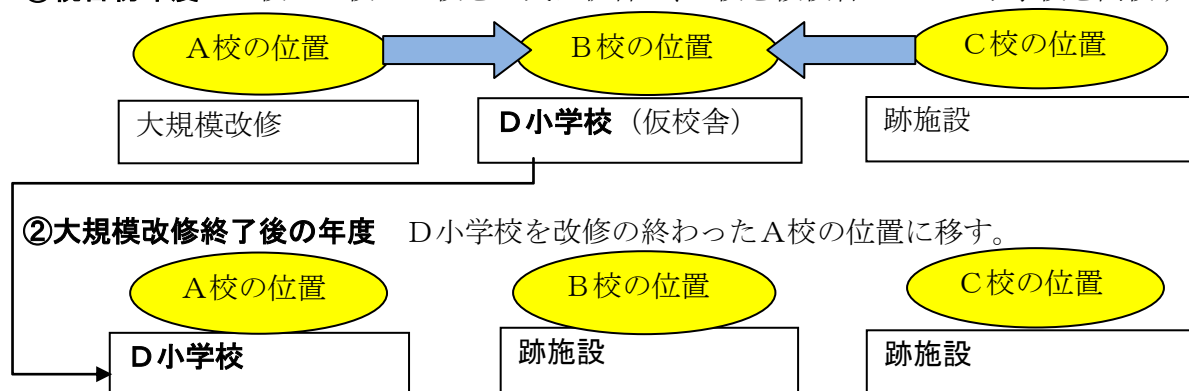
パターン1 (2段階統合方式)

- ①第1段階 A校とB校を統合し、B校を仮校舎としてD小学校を開校する。その際、C小学校は現状のままとする。



パターン2 (3校同時統合方式)

- ①統合初年度 A校とB校とC校を一気に統合し、B校を仮校舎としてD小学校を開校する。



2 統合時期の考え方について

統合準備に際して、子どもたちの交流期間を十分に取り余裕を持って進めるためには、**1年半～2年**の期間をとることが望ましい。

(1) 花島小学校 (準備期間約10か月)

平成17年5月「統合の要望書提出」 7月「統合準備会設置」

平成18年4月「花島小学校開校」

※現場教職員や保護者から統合準備があわただしかったとの意見があった。

(2) 真砂地区及び高洲地域の統合準備 (準備期間約1年半)

平成21年9月「統合の要望書提出」 10月「統合準備会設置」

平成23年4月「真砂中学校(仮称)・真砂東小学校(仮称)・真砂西小学校(仮称)・高洲小学校(仮称)開校予定」

※統合準備は順調に進んでいる。

(3) 高浜地域の統合準備 (準備期間約2年)

平成22年3月「統合の要望書提出」 9月「統合準備会設置」

平成24年4月「高浜二小・三小統合校開校予定」

※統合準備会設置前から、保護者・学校レベルで交流活動開始

3 小学校の統合シミュレーション

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度					
幸町第一小と幸町第二小と幸町第四小	児童数	1年	85	93	77	89	87				
		2年	75	85	93	77	89				
		3年	73	75	85	93	77				
		4年	90	73	75	85	93				
		5年	103	90	73	75	85				
		6年	95	103	90	73	75				
		計	521	519	493	492	506				
学級数		学級数	平均人数	学級数	平均人数	学級数	平均人数	学級数	平均人数	学級数	平均人数
	1年	3	29	3	31	3	26	3	30	3	29
	2年	2	38	3	29	3	31	3	26	3	30
	3年	2	37	2	38	3	29	3	31	2	39
	4年	3	30	2	37	2	38	3	29	3	31
	5年	3	35	3	30	2	37	2	38	3	29
	6年	3	32	3	35	3	30	2	37	2	38
	普通学級	16	33	16	33	16	31	16	31	16	32
	特別支援学級	6		6		6		6		6	
	計	22		22		22		22		22	

加配活用で3学級になる可能性あり

- 知的・情緒2学級
(一小ではプレイルームを入れて3教室使用)
- 言語・難聴4学級
(二小では防音設備を備えた特別な教室を含め8教室使用)

4 幸町2丁目の小・中学校の配置の現状



5 統合場所選定の考え方（これまでの例）

統合新設校		真砂中学校 (真砂一中・二 中統合校)	真砂東小学校 (真砂一小・四 小統合校)	真砂西小学校 (真砂二小・三 小統合校)	高洲小学校 (高洲一小・二 小統合校)	高浜二小・ 三小 統合新設校		
統合新設校設置場所		真砂第一中学校	真砂第二中学校	真砂第三小学校	高洲第一小学校	高浜第三小学校		
開校年度		S. 48	S. 49	S. 49	S. 47	S. 57		
教育環境	校地	校地面積(㎡)	23,128㎡	23,093㎡	16,596㎡	16,600㎡	18,077㎡	
		校地の形状	整っている	整っている	整っている	整っている	整っている	
	施設	校舎	校舎の形状					
			外部改修 施工年度	H. 11	H. 12	H. 18	H. 16	
		耐震補強	補強 済み		管理・特別・普 通教室棟 ※H. 12に施工	特別・普通教室 棟 ※H. 18に施工		
			補強 必要	管理・特別・普 通教室棟(0.42)	特別・普通教室 棟(0.43)		特別教室棟、管 理・普通教室棟 (0.41,0.48)	
		補強 不要	普通教室棟(新 基準) 特別教室棟 (2.35)	普通教室棟 (0.81) 特別教室棟 (1.93)	普通教室棟(新 基準) 管理室棟(0.62)		管理・普通教室 棟(新基準)、 特別教室棟(新 基準)	
		内部 改修	施工 年度		H. 12	H. 18 ※特別・普通教 室棟	H. 7	
	保有教室数 ()内は、 現在普通教 室として使 用できる教 室数		21(19)	24(16)	27(19)	22(19)	28(25)	
	体育館面積		874㎡	1,317㎡	789㎡	781㎡	786㎡	
	校庭	面積	13,899㎡	9,483㎡	6,628㎡	8,293㎡	8,749㎡	
	校庭	整備年度	H. 10	S. 60	H. 20	H. 4	H. 13	
通学距離等		一番遠くなると 思われる所から 約1.8km	真砂一小・四小 の間にある	一番遠くなると 思われる所から 約0.7km	一番遠くなると 思われる所から 約0.9km	一番遠くなると 思われる所から 約0.8km		
特別支援学級等			3学級設置(知 的2、情緒1)	1学級設置(知 的1) ライトポート美浜 を設置		平成22年度に 特別支援学級 (知的)を設置		
し地 域の 施設 機能と	育児	子どもルーム		学校敷地内に 設置	学校外に設置	学校外に設置		
	防災	避難所 施設等の設置	指定あり 地震計	指定あり	指定あり	指定あり		
選定の考え方		隣接する現真砂第二小学校を活用できる。校庭が整備され水はけがよい。	真砂一小と四小の中間にあり、どちらからも通学に簡便。体育館が広く地域活動にも至便。	すでに改修済の箇所が多くきれいである。	高洲地域の学校配置のバランスを重視(高洲一小と高洲二小はまったく同じ校舎の形状と校庭の状況である。)	校舎の見通しがよく、職員室・校長室から校庭を見渡すことができ、子どもたちの把握に至便。廊下が広く、明るい。新基準で建てられており、耐震性が高い。校庭が整備され水はけがよい。		